MDHCだより　NO．５１

三河歯科衛生専門学校　　H２２．５．２１

～　雑観　～

校　長　　竹　内　幹　彦

＊上海にて＊

万博を間近とひかえる上海の街を見て、早朝から夜中まで人通りが絶えない。一体何処からこんなに多くの人が沸いてくるのか不思議だ。そしてその人々が飯を食い、糞をしているのである。歩行者も車も交通ルールを全く無視。遠慮していたら生きていけないのだろう。安全指向の日本人なら道を横断するのに半日位かかりそうだ。上海郊外の高層マンションの建設ラッシュ。よく見ると仕事が雑で汚い。日本の建築法なら通らないであろう。なにしろ３０～４０階のビルが１年で建ってしまう。デパートの食品売り場は１個３０００円のりんごを売っているかと思うと現地の人しか行かない食堂で食事をした時の値段の安さ。あまりにも大きな落差。（なにしろ私の大好きな冷えたビールがない！）

＊西安にて＊

私は西安は日本における奈良、京都のような古い都で落ち着いた静かな街を想像していたが全くの期待はずれ。黄砂が立ち上り、上海と同じくいっぱいの人間。なぜ何千年も前にこのような悪環境の中に都が築かれたか理解出来ない。西安では「ホテルハイアット」に宿泊したが日本語の解る従業員が一人もいない。そういえば西安にいる間、欧米人、台湾人、韓国人は時々見かけたが日本人の観光客は殆ど見かけなかった。ホテルも空港も日本語表示はなし。もはや中国は日本を相手にしていない。

この文章を書いていたらテレビで谷亮子が今度の参院選に民主党から立候補するとのこと。しかもオリンピックを目指して。ふざけるにもほどがある。要請する方も受ける方も国民をバカにしている。なにしろ谷亮子は前回のオリンピックの選考会で敗れながら代表になった厚顔無恥な人間だぞ。真の人間、スポーツマンなら敗れたことを潔く認め代表の座をきれいにゆずるべきである。こんな日本では中国に敗ける。

追伸

今回の実習生は２年制の最後の学生となります。それぞれの先生方の教育信念に基づき自由にご指導して頂けたら大変ありがたいと思います。

平成２２年度　臨床実習概要

今年度の実習生は３９名、実習期間は５月１２日から１２月８日までです。２０の歯科医院・病院と８の諸施設のご協力のもと、４期に分けて実施します。

＊臨床実習事前指導内容

【臨床補助実習】１年生の学年末に臨床科目の主な器材、術式の知識を整理するため、ノートにそれぞれの用途・目的をまとめ、器材スケッチを行い、科目ごとに口頭試問を実施しました。また、主要３科の総合実習としてＴＢＩ・スケーリング・連合印象を一連の流れで行って一年生で習得した実技の復習をしました。

【実習直前指導】４月２８日・５月１１日に、臨床に出る前の最終準備として、バキュームテクニック、外科器具の取り扱いを復習しました。また、抜歯後、フッ素塗布後、義歯装着後の患者指導などを述べる口頭試問も実施しました。

～学校行事から～

１　入学式（１４回生）

平成２２年度入学式が４月８日(木)１０時から本校講堂で挙行されました。竹内校長が１４回生３１名の入学を許可し、本校において３年制教育を受ける初めての入学生となりました。

西三河８地区歯科医師会を代表して、碧南歯科医師会の石川会長から、「歯科衛生士は仕事を通じて患者やその家族から感謝される素晴しい仕事である。友人を作り、この３年間を充実したものとし、３年後に立派な歯科衛生士となることを期待している。」とお言葉を頂きました。また、愛知県歯科衛生士会の池山会長からは、「現在、歯科衛生士は高齢社会において新しい役割を担うようになった。人の口の中を覗きながらその人の人生を見ていくことになる。様々な洞察力を身につけて欲しい。」と新入生にとって今後の指針となるお話を頂きました。

２　戴帽式（１３回生）

桜の季節も過ぎた４月２２日（木）、臨床実習を前に２年生の戴帽式が西三河地区歯科医師会会長、愛知県歯科衛生士会会長をはじめ多くの保護者のご出席のもと、厳粛に行われました。

来賓を代表して、知立市歯科医師会の杉浦会長から「患者は一人一人違う、分からないことは臆せず聞いて一つずつ身につけて行けばよい。」そして『“歯科衛生士である前に人間たれ”』というお言葉を頂きました。愛知県歯科衛生士会の池山会長からは「実習は生きた勉強である。歯科衛生士の本当の力はどの位相手を観察出来るかである。この実習が本当に出来る歯科衛生士への分かれ道となる。頑張って来て欲しい。」と激励を頂きました。

第１９回　歯科衛生士国家試験結果

(Ｈ２２年３月実施・１２回生受験)

全国では５９２６名が受験し、合格率は９７．２%でした。本校では卒業生４３名全員が合格でき、６年連続１００%合格を達成しました。臨床実習でのご指導を心から感謝致します。ありがとうございました。